

■当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限 (信託約款所定の信託終了事由が生じた場合に償還されることがあります。)
運用方針	個人家計の「資産形成」を支援する目的で、「期待収益率が高い」と思われる資産に積極投資をします。
主要運用対象	主として国内外の有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	①「株式」に投資します。 ②「グローバル」な視点で投資します。 ③運用は「ファンド・オブ・ファンズ」形式で行います。 ④実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します。 ⑤株価が割高と思われるときには、現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。ただし、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会規則に定めるエクスポージャーがリスクスルーできる場合に該当しないときは、当該投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への投資には制限を設けません。 ④株式への直接投資は行いません。 ⑤デリバティブの直接利用は行いません。 ⑥一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
分配方針	毎決算時、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、投資環境や市況動向等を勘案して決定します(分配を行わないことがあります。)。当ファンドは分配金再投資専用であるため、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。

『ユニオンファンド』

運用報告書(全体版)

第13期(決算日2021年9月30日)

作成対象期間(2020年10月1日～2021年9月30日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび「ユニオンファンド」は、第13期決算を迎えました。ここに期中の運用状況等についてご報告申し上げます。

当ファンドは、2008年のリーマンショックの荒波の中で運用がスタートし、以来、信じてお金を託していただいているお客様と、成長を続ける世界の企業と共に、大小さまざまな危機を乗り越え今日に至っています。2020年春に世界に拡大した新型コロナウイルス感染症による景気の急激な落ち込みも次第に克服しつつあり、「よりよい社会にしたい」という人間の強い願いと行動によって、今後も世界経済はこれまで同様に成長し続けていくものと確信しています。

皆様からお預かりした大切なご資金は、選び抜いたファンドを通じて世界中の選び抜かれた企業に投資しています。皆様の資産形成のお役に立てるよう邁進してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

あなたと大切な方の未来のために

ユニオン投信 Union Asset Management

〒390-0815

長野県松本市深志一丁目1番21号
中田齒科ビル5F

本書の記載内容等に関するお問い合わせ先

ユニオン投信株式会社 業務管理部

電話番号：0263-38-0725

受付時間：午前9時～午後5時

(土日祝日、年末年始を除きます。)

ホームページ：<http://www.unionam.co.jp/>

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
	円	円	%	%	百万円
9期 (2017年10月2日)	24,971	0	25.5	85.8	5,751
10期 (2018年10月1日)	24,929	0	△ 0.2	92.5	6,483
11期 (2019年9月30日)	23,163	0	△ 7.1	87.9	6,704
12期 (2020年9月30日)	24,307	0	4.9	88.6	7,654
13期 (2021年9月30日)	30,215	0	24.3	86.2	9,707

(注1) 基準価額(分配落)、税込分配金は1万円当たり、期中騰落率は前期末比で表示しています。

(注2) 期中騰落率、組入比率は小数第2位四捨五入で、純資産総額は単位未満切捨てで表示しています。

(注3) 当ファンドは、主に国内外の株式に投資する投資信託証券に分散投資していますが、比較できる適切な指数が存在しないため、ベンチマークを設けておらず、参考指数もありません。よって上表に併記していません。

■当期中の基準価額等の推移

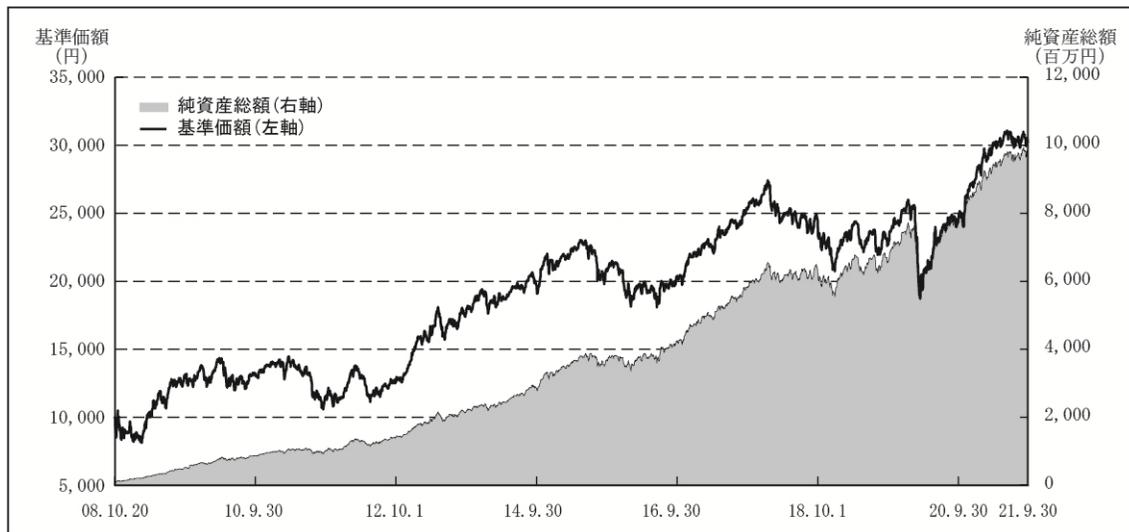
年月日	基準価額		投資信託証券 組入比率	純資産総額
	騰落率			
(期首)	円	%	%	百万円
2020年9月30日	24,307	—	88.6	7,654
10月末	24,083	△ 0.9	88.3	7,608
11月末	26,746	10.0	89.8	8,424
12月末	27,446	12.9	90.3	8,624
2021年1月末	28,019	15.3	89.5	8,762
2月末	29,218	20.2	90.0	9,139
3月末	29,665	22.0	90.2	9,277
4月末	30,226	24.4	90.1	9,492
5月末	30,731	26.4	87.7	9,693
6月末	30,832	26.8	87.5	9,762
7月末	30,112	23.9	86.6	9,607
8月末	30,379	25.0	86.3	9,741
(期末)				
2021年9月30日	30,215	24.3	86.2	9,707

(注1) 基準価額は1万円当たり、騰落率は期首比で表示しています。

(注2) 騰落率、組入比率は小数第2位四捨五入で、純資産総額は単位未満切捨てで表示しています。

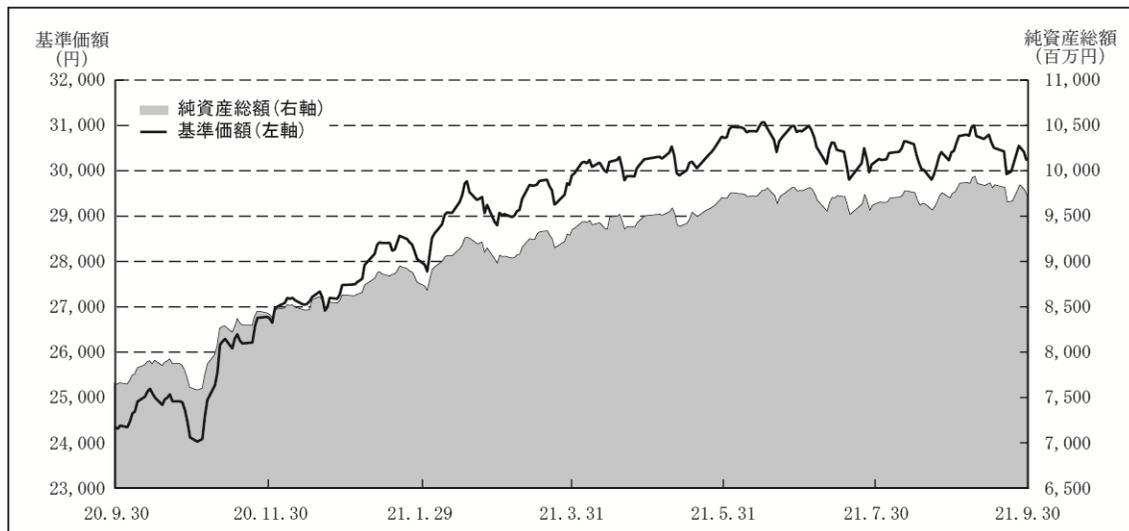
(注3) 当ファンドは、主に国内外の株式に投資する投資信託証券に分散投資していますが、比較できる適切な指数が存在しないため、ベンチマークを設けておらず、参考指数もありません。よって上表に併記していません。

■ 設定以来の基準価額等の推移 (2008年10月20日～2021年9月30日)



(注) 当ファンドは分配を行っていないため、分配金再投資基準価額を表示していません。基準価額がファンド運用の実質的なパフォーマンスを示しています。

■ 当期中の基準価額等の推移 (2020年9月30日～2021年9月30日)



(注) 当ファンドは分配を行っていないため、分配金再投資基準価額を表示していません。基準価額がファンド運用の実質的なパフォーマンスを示しています。

■当期の基準価額の主な変動要因

当期は、世界の株価が2020年春を起点に急ピッチで上昇する中でスタートしました。新型コロナウイルスに対して高い有効性を持つワクチンが開発されたことに加え、金融・財政両面で大規模な経済対策が各国で実行されたことが功を奏し、景気と企業業績は好調に推移しました。また、為替市場では、米国景気の相対的な好調と金利高への期待から、ドルが2021年の初めから上昇基調となりました。円は欧州や新興国の通貨に対しても値下がりしたことから、外国株式の円換算の評価額を押し上げ、基準価額にプラスに作用しました。

以上の結果、組入ファンド6本すべてが値上がりしたため、ユニオンファンドの基準価額は期首に比べ24.3%上昇しました。欧米の株価は期を通じて好調に推移し、ハリスFは51.7%、コムジエストEUFは37.9%、キャピタルFは30.3%と、軒並み大幅に値上がりしました。日本株は4月以降、横ばい状態にとどまりましたが、期末にかけて急上昇したため、スパークスFが27.2%、さわかみFが24.1%とそれぞれ大きく値上がりしました。ただ、新興国に投資しているコムジエストEMFは9.9%の値上がりにとどまりました。組入比率が最大の同ファンドの値上がりが小幅だったため、ユニオンファンドの基準価額は世界の株価に劣後する結果となりました。

(注) 当運用報告書(全体版)では、組入ファンドの名称を以下のとおり省略して記載することがあります。

- ・「さわかみファンド」：さわかみF
- ・「スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>」：スパークスF
- ・「キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ」：キャピタルF
- ・「ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 2007 (適格機関投資家専用)」：ハリスF
- ・「コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド90 (適格機関投資家限定)」：コムジエストEUF
- ・「コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド95 (適格機関投資家限定)」：コムジエストEMF

■当期の投資環境

【株式市場の動き】

当期の株価は、新型コロナウイルスに有効なワクチンの開発が大きなプラス材料となり、おおむね堅調に推移しました。感染の抑制が見込めたため、都市封鎖などの行動規制の解除をはじめ、経済活動の本格回復への期待が高まりました。ただ、コロナ感染は完全な終息には至りませんでした。規制の解除や緩和のたびに感染が広がり、再度の規制強化に追い込まれることも多く、株価は感染状況に一喜一憂する展開となりました。とはいえ、新型コロナウイルスは時間がかかってもいずれ克服できるとの見方は変わらず、景気回復と企業業績拡大への期待が株価を支え続けました。

また、2020年春以来実施されてきた経済対策、とりわけ主要中央銀行が行ってきた資産購入などの金融緩和策も、株価上昇に大きな力を発揮しました。

株価の動きを地域別に見ますと、欧米は当期を通じて好調でしたが、日本は期中に一時低迷した後盛り返し、新興国は前半好調ながら後半失速と、動きはかなり異なりました。

米国と欧州先進国では、株価が下がるとすぐ買いが入り、大きな調整がほとんどないまま上昇が続きました。これは、株価の上昇に業績見通しの改善という裏付けがあったためと見られます。特

に米国の巨大IT企業の株価は1株当たり利益の増加にほぼ沿った形で推移し、少なくとも当期においては割高感がさらに大きく高まるほどではありませんでした

コロナ禍を機にリモートワークが進んだことなどがIT関連企業の業績拡大と株価上昇につながった一方、景気拡大によって恩恵を受ける企業の業績改善期待も根強いものがありました。こうしてIT関連企業と景気敏感業種の株式が交互に買われる展開が続きました。

新興国の株価は2021年の年明けまで先進国を上回る好調な動きを見せていましたが、それ以降は全体に失速気味で、期末に向けて横ばいないし若干下落する推移となりました。

新型コロナウイルスの発生源と見られている中国では、感染拡大を押さえ込む強力な対策によって景気がいち早く持ち直し、その結果、当期の株価も堅調に始まりましたが、早期の景気回復の反動で失速も早く起こり、株価は2月以降ほぼ膠着状態となりました。期末にかけては、金融緩和期待で一時上昇する場面もありましたが、不動産大手の恒大集団の巨額負債を巡って社債の利払いや償還の困難が伝えられ、不動産業界全体の厳しい状況が警戒されて反落しました。

韓国株と台湾株は、半導体市況の好調で大きな上昇が続きましたが、2021年の初めから4月にかけて相次いでピークアウトし、後半は軟調な推移にとどまりました。春先の感染爆発が収まり景気拡大期待が高まったインドをはじめ、株価の好調が続いた国もあり、新興国は全体としては値上がりで終わりました。ただ、ドル建て債務を持つ多くの新興国にとって米国金利とドルの上昇が重荷であることなどから、株価上昇率は先進国を大きく下回る結果となりました。

日本株は2021年の年明けまでは好調でしたが、4月に3度目の緊急事態宣言が出される頃から頭打ちとなり、それ以降は膠着状態が続きました。ただ、菅前首相が9月に退任を表明し、自民党総裁選と総選挙への不透明感が解消されたことなどから急伸し、当期の高値近辺で期末を迎えました。

【為替市場の動き】

当期は円がほぼ全面安となりました。前半は米国の長期金利の低下と大規模な金融緩和の長期化予想を背景に、ドルが前期に引き続き軟調でした。しかし、2020年秋に新型コロナウイルスのワクチンが開発されたことから、感染の減少による景気回復への期待が高まりました。この結果、米国の長期金利は年明け以降4月にかけて上昇し、他の国と金利差が拡大したことから、最初は円が売られ、次いでユーロも対ドルで軟調となりました。新興国通貨は、前半は米国金利の低下を受けて堅調で、その後もほぼ横ばいで推移しました。期末にかけては米国金利の上昇予想から下落しましたが、前期比では対ドルでも小幅上昇して終わりました。

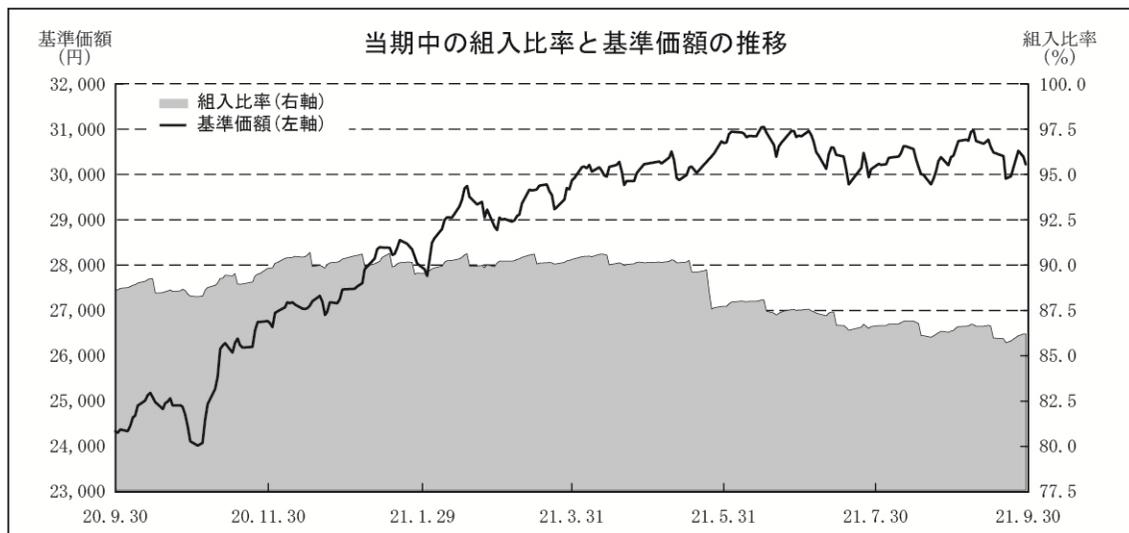
■当期の運用状況

当期は買い増しを見送りました。これは、期の前半においてはお客様の解約が増加したことに対応し、また、後半は組入ファンドの値上がりを考慮したためです。一方、売却については、コムジェストEMFとハリスFの部分売却を実施しました。

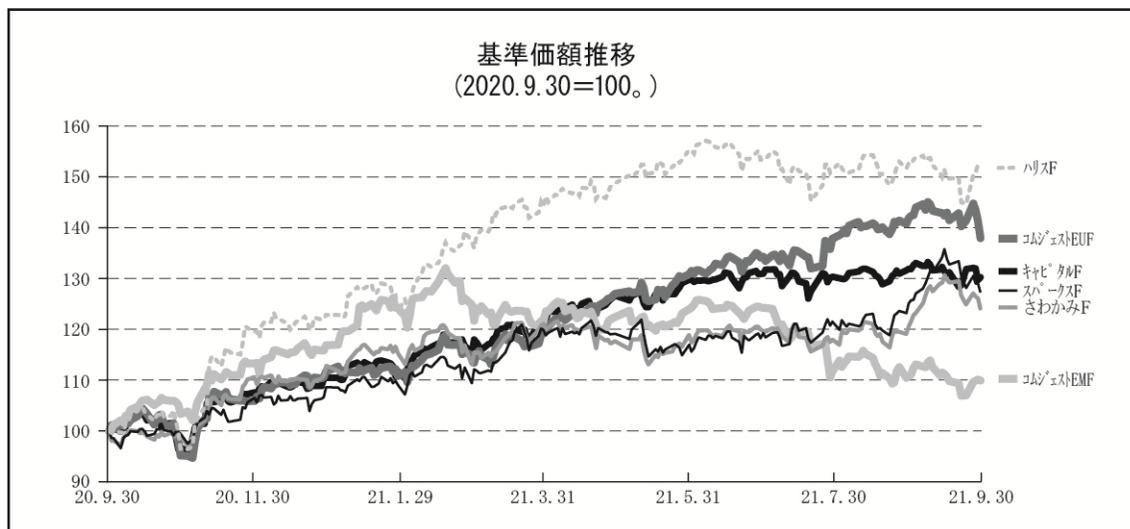
コムジェストEMFの主な投資対象である新興国株については、相対的に高い経済成長が企業業績の持続的拡大と株価の上昇につながるとの考えに基づき、設定以来、高めの投資比率を保ってきました。しかし、いずれ改善に向かうと見られるものの、しばらくは期待ほどの業績拡大が実現できない可能性があるかと判断し、前期から組入比率を徐々に低下させてきました。当期もこの考えに基づきコムジェストEMFを1月と5月に売却しました。また、ハリスFに関しましては、前半の値上がりが極めて大きかったことに加え、景気に敏感な企業を多く保有する同ファンドにとってコロナ感染の長期化による景気回復の遅れはマイナスと考え、1月と5月に売却しました。

以上の結果、全体の組入比率は、期首の88.6%に対し、2020年12月には期中の最高である90.7%に高まりました。その後、2021年5月まで90%程度で推移しましたが、2つのファンドの部分売却により組入比率は若干低下しました。9月には当期の最低である85.7%となり、期末は86.2%でした。

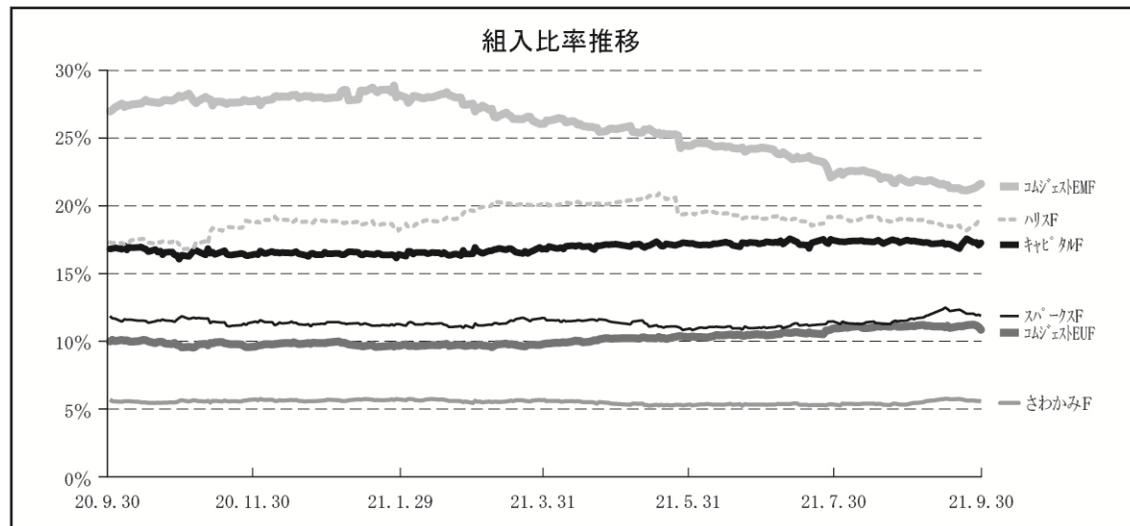
期末のファンド別組入比率は、コムジェストEMF 21.6%、ハリスF 19.0%、キャピタルF 17.3%、スパークスF 11.9%、コムジェストEUF 10.8%、さわかみF 5.5%でした。



【参考情報】当期中の組入ファンドの状況



(注) ハリスFは分配金再投資基準価額で計算しています。



■ベンチマーク

当ファンドは、比較できる適切な指数が存在しないため、運用の目標とするベンチマークを設けておらず、参考指数もありません。

■分配金

基準価額の水準、投資環境、運用の安定等を考慮し、当期は分配を行わないこととしました。

なお、収益分配に充てなかった利益については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（2020年10月1日～2021年9月30日）

（1万口当たり、税込み）

項目		当期
当期分配金	(円)	—
(対基準価額比率)	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	20,214

（注1）対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）金額は、項目ごとに円未満切捨てで表示しています。そのため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しないことがあります。

■今後の運用方針

コロナ禍でサプライチェーンが傷つき供給能力が十分に修復しない中でモノへの需要が回復したことなどから、世界的に物価が上昇基調にあります。米国では、F R B（連邦準備制度理事会）による量的緩和の縮小が年内にもスタートする可能性が高まり、政策金利（F F金利）の引き上げ時期も予想より前倒しされる見通しとなってきました。金融緩和による余剰資金が株価を押し上げてきた面が確かにありますから、今後の政策には十分に注意が必要と見えています。

また、世界の企業の業績は、これまで好調が続いてきた米国や欧州を含め徐々に鈍化しつつあります。中国では大手不動産会社である恒大集団の経営危機や、電力供給不足とそれによる生産活動への影響が懸念されています。新型コロナウイルスも撲滅できたわけではなく、再燃の可能性が残っています。ワクチンの効果に限界があるほか、未接種の人が新興国・発展途上国にまだ多い点は懸念されます。

こうした不透明要因はありますが、ユニオンファンドが組み入れているファンドは業績拡大が続くと期待できる企業や、株価が大幅に割安と見られる企業に投資しています。株価の長期的な上昇期待は全く変わっていないため、投資環境に十分留意しつつ、前向きに投資を進めていく方針です。

■ 1万口当たりの費用明細 (2020年10月1日～2021年9月30日)

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬 (委託会社) (販売会社) (受託会社)	255 (159) (86) (10)	0.880 (0.550) (0.297) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (その他)	4 (4)	0.013 (0.013)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 (各月末の残存受益権口数の単純平均) 金銭信託にかかる手数料等
合計	259	0.893	
期中の平均基準価額は、28,973円です。			

(注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

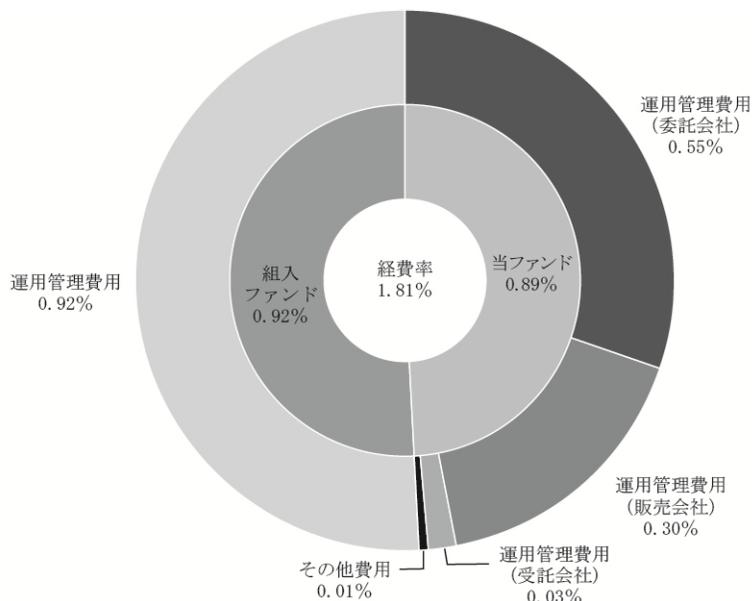
(注2) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期間における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、「組入投資信託証券の運用内容」に表示しています。

(注3) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

(注4) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額を期中の平均基準価額 (各月末の基準価額の単純平均) で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

【参考情報】経費率（組入ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.81%です。



経費率 (①+②)	1.81%
①当ファンドの費用の比率	0.89%
②組入ファンドの運用管理費用の比率	0.92%

- (注1) ①の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。また、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税ならびに当ファンドが組み入れている投資信託証券（組入ファンド）が支払った費用を含みません。
- (注2) ②の費用は、期中の各月末の各組入ファンドの組入比率に、当該組入ファンドの信託報酬率（信託報酬率が変動する場合はその上限の率）を乗じたものの単純平均です。
- (注3) 率および比率は、年率換算した値で、小数第3位四捨五入で表示しています。
- (注4) 当参考情報は、注1から注3までの前提条件をもとに算出したものであるため、あくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。また、組入ファンドには、運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、当参考情報には含まれていません。

■売買および取引の状況（2020年10月1日～2021年9月30日）

投資信託証券

銘柄		当 期			
		買 付		売 付	
		単位数・口数 (千口)	金額 (千円)	単位数・口数 (千口)	金額 (千円)
国内	ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007	209,222	280,525	112,446	160,000
	コムジェスト・エマージングマー ケッツ・ファンド 95	—	—	166,382	190,000

(注1) 金額は、受渡代金です。

(注2) 単位未満切捨てで表示しています。

(注3) ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007の買付は、分配金再投資によるものです。

■利害関係人との取引状況等（2020年10月1日～2021年9月30日）

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2020年10月1日～2021年9月30日)

当期における自己取引はありません。

■自社による当ファンドの設定・解約状況（2020年10月1日～2021年9月30日）

期首残高 (元本) (百万円)	当期設定 元本 (百万円)	当期解約 元本 (百万円)	期末残高 (元本) (百万円)	取引の理由
23	—	3	19	自社財産の運用を目的とした取得等

(注) 単位未満切捨てで表示しています。

■組入資産の明細

ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建投資信託証券の明細

銘柄名	期首 (前期末)	当期末 (2021年9月30日現在)		
	単位数・口数 (千口)	単位数・口数 (千口)	評価額 (千円)	組入比率 (%)
株式ファンド (日本)				
コムジェスト・エマージングマー ケッツ・ファンド 95	2,208,594	2,042,211	2,101,231	21.6
ALAMCO ハリス グローバル バリュー株ファンド 2007	1,197,508	1,294,284	1,843,060	19.0
スパークス・集中投資・日本株フ ァンドS	184,789	184,789	1,152,585	11.9
コムジェスト・ヨーロッパ・ファ ンド 90	631,165	631,165	1,052,342	10.8
さわかみファンド	167,139	167,139	536,919	5.5
(ルクセンブルク)				
キャピタル・グループ・グローバル・ エクイティ・ファンド (LUX) クラスZ	334	334	1,677,214	17.3
合 計	4,389,531	4,319,924	8,363,354	86.2
銘柄数	6 銘柄		6 銘柄	

(注1) 単位数・口数、評価額は、単位未満切捨てで表示しています。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

■投資信託財産の構成 (2021年9月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額 (千円)	比 率 (%)
投 資 信 託 受 益 証 券	6,686,139	68.4
投 資 証 券	1,677,214	17.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,406,709	14.4
投 資 信 託 財 産 総 額	9,770,062	100.0

(注1) 評価額は単位未満切捨てで、比率は小数第2位四捨五入で表示しています。ただし、コール・ローン等、その他の評価額および比率は、投資信託財産総額から他の項目の合計を差し引いたものです。

(注2) 当期末における外貨建資産はありません。

■資産、負債、元本および基準価額の状況
(2021年9月30日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	9,770,062,600円
コール・ローン等	1,406,708,388
投資信託受益証券(評価額)	6,686,139,686
投資証券(評価額)	1,677,214,526
(B) 負 債	62,933,338
未払解約金	20,323,251
未払信託報酬	42,484,609
その他未払費用	125,478
(C) 純資産総額(A-B)	9,707,129,262
元 本	3,212,688,300
次期繰越損益金	6,494,440,962
(D) 受益権総口数	3,212,688,300口
1万円当たり基準価額(C/D)	30,215円

(注1) 期首元本額 3,148,971,687円
 期中追加設定元本額 339,794,395円
 期中一部解約元本額 276,077,782円
 (注2) 1口当たり純資産額 3,0215円

■損益の状況
(2020年10月1日～2021年9月30日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	273,978,857円
受 取 配 当 金	273,978,848
受 取 利 息	9
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,553,395,396
売 買 益	1,649,797,124
売 買 損	△96,401,728
(C) 信 託 報 酬 等	△81,210,264
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	1,746,163,989
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,286,253,385
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,462,023,588
(配 当 等 相 当 額)	(3,101,413,137)
(売 買 損 益 相 当 額)	(360,610,451)
(G) 合 計 (D + E + F)	6,494,440,962
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	6,494,440,962
追 加 信 託 差 損 益 金	3,462,023,588
(配 当 等 相 当 額)	(3,101,413,137)
(売 買 損 益 相 当 額)	(360,610,451)
分 配 準 備 積 立 金	3,032,417,374
繰 越 損 益 金	0

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。
 (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注4) 期末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(261,805,438円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(1,430,482,936円)、信託約款に規定される収益調整金(3,462,023,588円)および分配準備積立金(1,340,129,000円)より分配対象額は6,494,440,962円(1万円当たり20,214円)です。分配は行っていません。

■お知らせ

該当事項はありません。

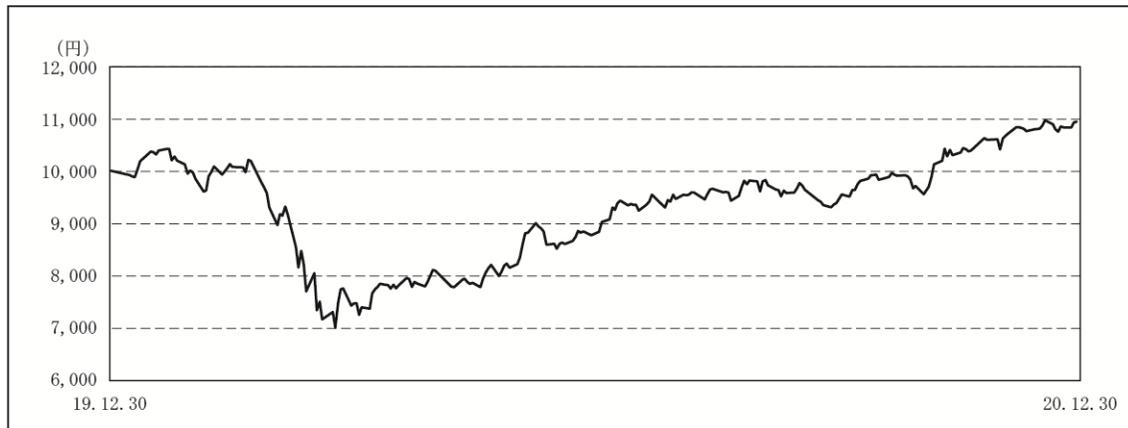
■組入投資信託証券の運用内容

当期末時点の組入投資信託証券（組入ファンド）について、当運用報告書（全体版）作成時点において入手可能な直近計算期間に関する情報を記載しています。

1 《コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド 95（適格機関投資家限定）》

決算日：2020年12月30日 計算期間：2019年12月31日～2020年12月30日

◎基準価額の推移（2019年12月30日～2020年12月30日）



◎ 1 万口当たりの費用明細 (2019年12月31日～2020年12月30日)

項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a) 信託報酬 (委託会社) (販売会社) (受託会社)	96 (61) (30) (5)	1.045 (0.660) (0.330) (0.055)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	5 (5)	0.052 (0.052)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式)	5 (5)	0.054 (0.054)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	15 (12) (2) (1)	0.165 (0.135) (0.022) (0.007)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 グローバルな取引主体識別子 (LEI : Legal Entity Identifier) 登録費用、金銭信託手数料、外国株式に関する各種手数料等 (ADR手数料や税務代理人費用等)、インド株式におけるキャピタルゲイン課税、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合計	121	1.316	
期中の平均基準価額は、9,219円です。			

(注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は、当組入ファンドの期末の税率を採用しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当組入ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当組入ファンドに対応するものです。

(注4) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

(注5) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

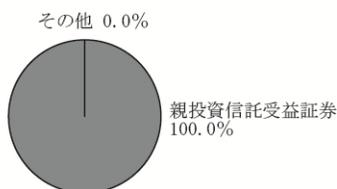
◎組入資産の明細

親投資信託残高

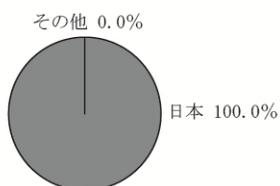
銘柄名	当期末 (2020年12月30日現在)	
	口数(千口)	評価額(千円)
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	1,301,754	2,817,386

(注) 口数、評価額は、単位未満切捨てで表示しています。

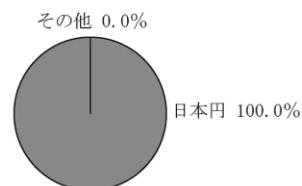
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

(注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況
(2020年12月30日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,831,065,304円
コール・ローン等	13,678,765
ニッポンコムジェスト・エマージング マーケット マザーファンド(評価額)	2,817,386,539
(B) 負 債	13,507,159
未払信託報酬	13,232,126
未払利息	33
その他未払費用	275,000
(C) 純資産総額(A-B)	2,817,558,145
元 本	2,572,967,083
次期繰越損益金	244,591,062
(D) 受益権総口数	2,572,967,083口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,951円

(注1) 期首元本額	2,814,204,959円
期中追加設定元本額	32,459,598円
期中一部解約元本額	273,697,474円
(注2) 1口当たり純資産額	1.0951円

◎損益の状況
(2019年12月31日～2020年12月30日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△5,980円
支 払 利 息	△5,980
(B) 有価証券売買損益	269,476,618
売 買 損 益	301,119,534
売 買 損	△31,642,916
(C) 信 託 報 酬 等	△26,562,499
(D) 当期損益金(A+B+C)	242,908,139
(E) 前期繰越損益金	120,171,454
(F) 追加信託差損益金	△118,488,531
(配当等相当額)	(14,832,933)
(売買損益相当額)	(△133,321,464)
(G) 計 (D + E + F)	244,591,062
(H) 収 益 分 配 金	0
次期繰越損益金(G+H)	244,591,062
追加信託差損益金	△118,488,531
(配当等相当額)	(14,850,786)
(売買損益相当額)	(△133,339,317)
分配準備積立金	363,079,593

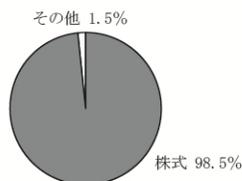
- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(46,295,576円)、費用控除後の有価証券等損益額(196,612,563円)、信託約款に規定する収益調整金(14,850,786円)および分配準備積立金(120,171,454円)より分配対象収益は377,930,379円(1万口当たり1,468円)ですが、当期に分配した金額はありません。
- (注5) 当組入ファンドが主要投資対象としています、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンドは、外貨建資産の運用の指図権限をComgest SAに委託しています。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っています。

◎ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド 組入状況 (2020年12月25日現在)

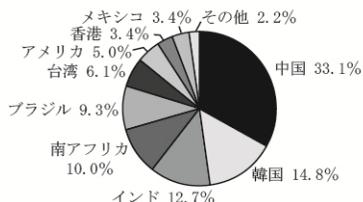
組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	MSCI業種分類	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	情報技術	韓国	韓国ウォン	7.0
2	株式	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	情報技術	台湾	米ドル	6.1
3	株式	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	金融	中国	香港ドル	6.0
4	株式	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	金融	インド	インドルピー	4.9
5	株式	NASPERS LTD-N SHS	一般消費財・サービス	南アフリカ	南アフリカランド	4.7
6	株式	NETEASE INC	コミュニケーション・サービス	中国	香港ドル	4.3
7	株式	ALIBABA GROUP HOLDING LIMITED	一般消費財・サービス	中国	香港ドル	4.2
8	株式	NCSOFT CORPORATION	コミュニケーション・サービス	韓国	韓国ウォン	4.1
9	株式	COGNIZANT TECHNOLOGY SOLUTION A ORD	情報技術	アメリカ	米ドル	3.7
10	株式	SAIC MOTOR CORPORATION LTD.	一般消費財・サービス	中国	中国元	3.5
組入銘柄数				34銘柄		

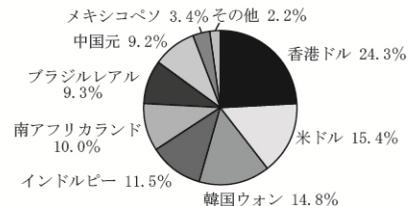
【資産別配分】



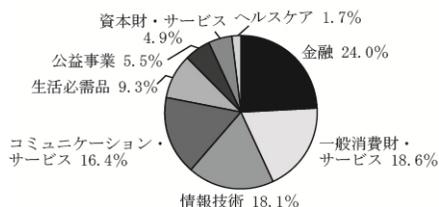
【国別配分】



【通貨別配分】



【業種別配分】



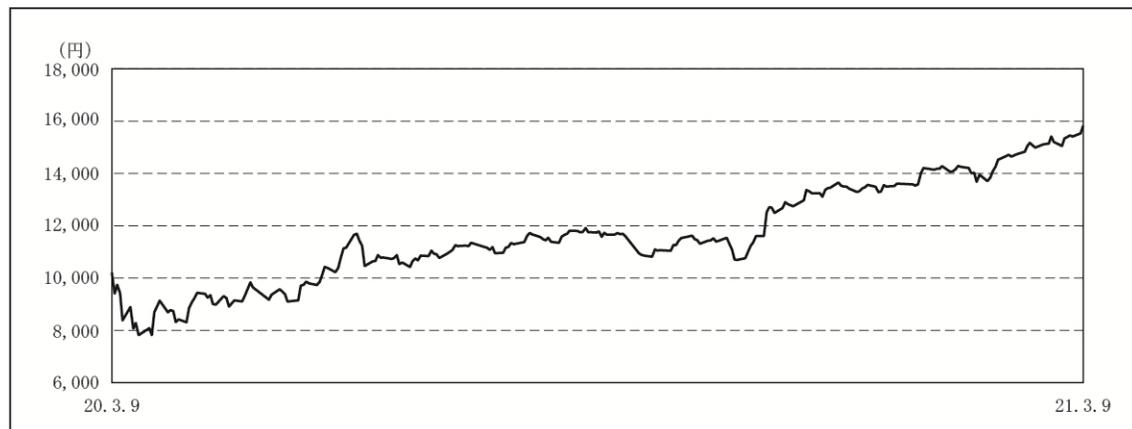
(注1) 比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

(注2) 資産別配分のその他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

2 《ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 2007（適格機関投資家専用）》

決算日：2021年3月9日 計算期間：2020年3月10日～2021年3月9日

◎基準価額の推移（2020年3月9日～2021年3月9日）



(注) 期間末日の基準価額は、当該計算期間の分配金込みで表示しています。

◎ 1 万口当たりの費用明細 (2020年 3 月 10 日～2021年 3 月 9 日)

項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a) 信託報酬 (委託会社) (販売会社) (受託会社)	167 (128) (28) (10)	1.430 (1.100) (0.242) (0.088)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式) (新株予約権証券)	3 (3) (0)	0.026 (0.026) (0.000)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式)	4 (4)	0.031 (0.031)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	5 (4) (1) (0)	0.039 (0.033) (0.005) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	179	1.526	
期中の平均基準価額は、11,655円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当組入ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当組入ファンドに対応するものを含みます。

(注3) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

(注4) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

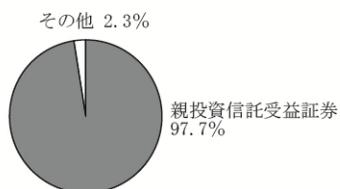
◎組入資産の明細

親投資信託残高

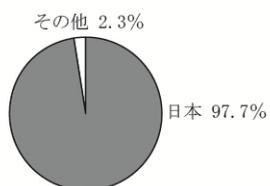
銘柄名	当期末 (2021年3月9日現在)	
	口数(千口)	評価額(千円)
ALAMCO ハリス グローバル バリューストックマザーファンド	1,254,301	3,415,462

(注) 口数、評価額は、単位未満切捨てで表示しています。

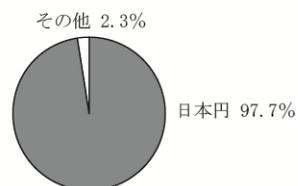
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

(注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況
(2021年3月9日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	4,152,451,061円
コール・ローン等	736,988,875
ALAMCO ハリス グローバル バリューストックマザーファンド(評価額)	3,415,462,186
(B) 負 債	655,896,501
未 払 解 約 金	625,885,219
未 払 信 託 報 酬	29,894,672
未 払 利 息	1,696
そ の 他 未 払 費 用	114,914
(C) 純資産総額(A-B)	3,496,554,560
元 本	2,607,855,080
次期繰越損益金	888,699,480
(D) 受益権総口数	2,607,855,080口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,408円

(注) 期首元本額	4,314,462,904円
期中追加設定元本額	144,013,101円
期中一部解約元本額	1,850,620,925円

◎損益の状況
(2020年3月10日～2021年3月9日)

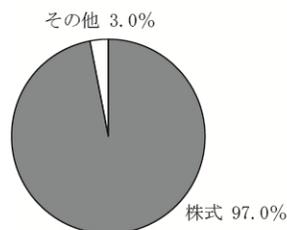
項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△25,032円
支 払 利 息	△25,032
(B) 有価証券売買損益	1,547,714,670
売 買 損 益	1,998,213,367
売 買 損	△450,498,697
(C) 信 託 報 酬 等	△62,925,498
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,484,764,140
(E) 前期繰越損益金	△323,973,004
(F) 追加信託差損益金	353,793,563
(配 当 等 相 当 額)	(875,931,801)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△522,138,238)
(G) 計 (D + E + F)	1,514,584,699
(H) 収益分配金	△625,885,219
次期繰越損益金(G+H)	888,699,480
追加信託差損益金	353,793,563
(配 当 等 相 当 額)	(876,060,168)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△522,266,605)
分配準備積立金	534,905,917

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 信託財産の運用指図にかかる権限の一部を委託するために要した費用として、当組入ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対して年1万分の65の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。
- (注5) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(29,818,104円)、費用控除後の有価証券等損益額(773,130,429円)、信託約款に規定する収益調整金(876,060,168円)および分配準備積立金(357,842,603円)より分配対象収益は2,036,851,304円(1万口当たり7,810円)であり、うち625,885,219円(1万口当たり2,400円)を分配金額としています。

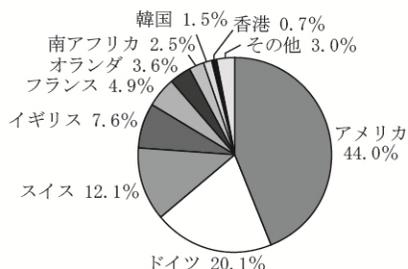
◎ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 組入状況 (2021年3月9日現在)
組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	業種等	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	アメリカ	米ドル	5.0
2	株式	BNP PARIBAS	銀行	フランス	ユーロ	4.9
3	株式	CREDIT SUISSE GROUP AG-REG	各種金融	スイス	スイスフラン	4.8
4	株式	DAIMLER AG-REG	自動車・自動車部品	ドイツ	ユーロ	4.8
5	株式	BAYER AG	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	ドイツ	ユーロ	4.4
6	株式	ALLIANZ SE	保険	ドイツ	ユーロ	4.3
7	株式	GLENCORE PLC	素材	イギリス	英ポンド	4.2
8	株式	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	各種金融	アメリカ	米ドル	3.6
9	株式	CNH INDUSTRIAL NV	資本財	オランダ	ユーロ	3.6
10	株式	JULIUS BAER GROUP LTD	各種金融	スイス	スイスフラン	3.1
組入銘柄数						46銘柄

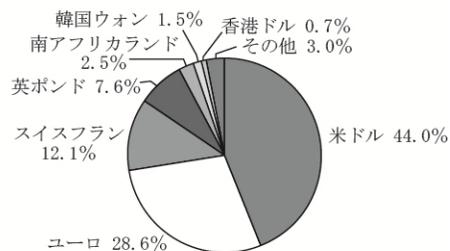
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



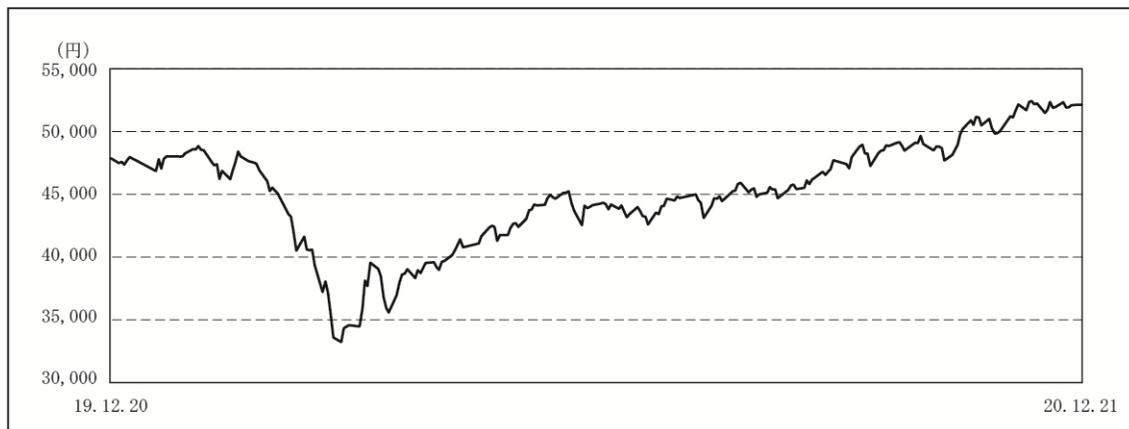
(注1) 比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

(注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

3 《スパークス・集中投資・日本株ファンドS〈適格機関投資家限定〉》

決算日：2020年12月21日 計算期間：2019年12月21日～2020年12月21日

◎基準価額の推移（2019年12月20日～2020年12月21日）



◎1万口当たりの費用明細（2019年12月21日～2020年12月21日）

項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a) 信託報酬 (委託会社) (販売会社) (受託会社)	372 (330) (25) (17)	0.83 (0.73) (0.06) (0.04)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (株式)	15 (15)	0.03 (0.03)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等を売買する際に発生する費用
(c) その他費用 (監査費用)	2 (2)	0.00 (0.00)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	389	0.86	
期中の平均基準価額は、45,034円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 売買委託手数料およびその他費用は、当組入ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当組入ファンドに対応するものを含まず。

(注3) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

(注4) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位四捨五入で表示しています。

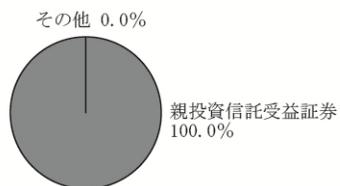
◎組入資産の明細

親投資信託残高

銘柄名	当期末 (2020年12月21日現在)	
	口数 (千口)	評価額 (千円)
スパークス集中投資戦略マザーファンド	761,578	4,539,467

(注) 口数、評価額は、単位未満切捨てで表示しています。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

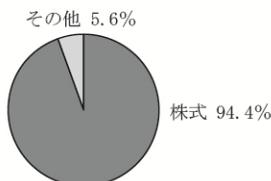
(注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

◎スパークス集中投資戦略マザーファンド 組入状況 (2020年12月21日現在)

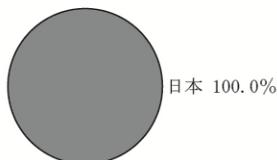
組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	業種	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	MARUWA	ガラス・土石製品	日本	日本円	9.0
2	株式	ベイカレント・コンサルティング	サービス業	日本	日本円	7.9
3	株式	TOTO	ガラス・土石製品	日本	日本円	5.3
4	株式	クミアイ化学工業	化学	日本	日本円	5.3
5	株式	三浦工業	機械	日本	日本円	4.8
6	株式	シップヘルスケアホールディングス	卸売業	日本	日本円	4.2
7	株式	エフピコ	化学	日本	日本円	4.1
8	株式	ニチハ	ガラス・土石製品	日本	日本円	3.9
9	株式	全国保証	その他金融業	日本	日本円	3.9
10	株式	日本エム・ディ・エム	精密機器	日本	日本円	3.6
組入銘柄数				35銘柄		

【資産別配分】



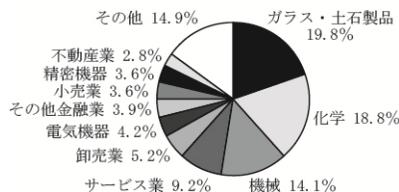
【国別配分】



【通貨別配分】



【業種別配分】



(注1) 比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

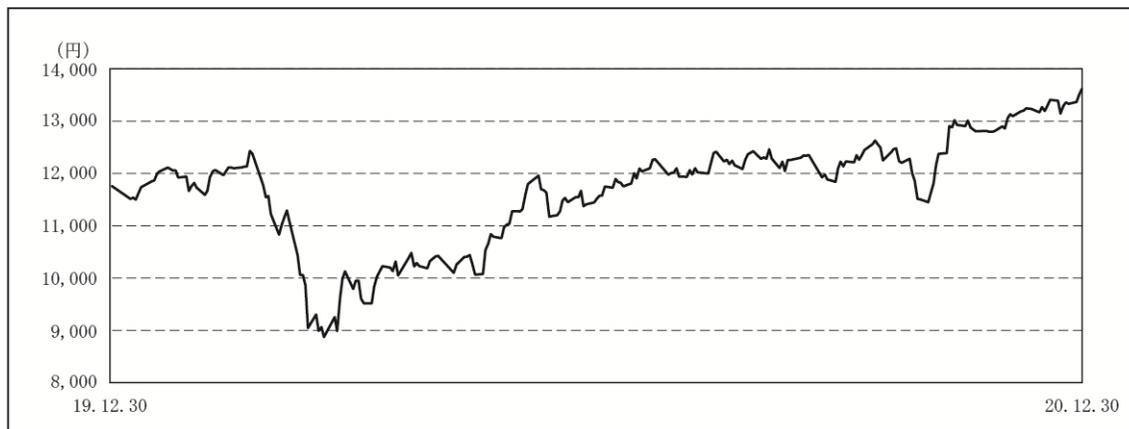
(注2) 資産別配分のその他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

(注3) 業種別配分のその他は、組入上位10業種以外の業種およびコール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

4 《コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド 90（適格機関投資家限定）》

決算日：2020年12月30日 計算期間：2019年12月31日～2020年12月30日

◎基準価額の推移（2019年12月30日～2020年12月30日）



◎ 1 万口当たりの費用明細 (2019年12月31日～2020年12月30日)

項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a) 信託報酬 (委託会社) (販売会社) (受託会社)	114 (72) (36) (6)	0.990 (0.627) (0.308) (0.055)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	2 (2)	0.020 (0.020)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式)	3 (3)	0.028 (0.028)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	8 (5) (3) (0)	0.068 (0.040) (0.028) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 グローバルな取引主体識別子 (LEI : Legal Entity Identifier) 登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合計	127	1.106	
期中の平均基準価額は、11,551円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は、当組入ファンドの期末の税率を採用しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当組入ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当組入ファンドに対応するものです。

(注4) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

(注5) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

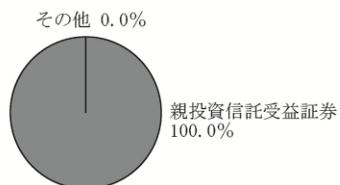
◎組入資産の明細

親投資信託残高

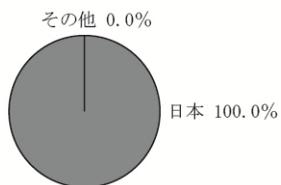
銘柄名	当期末 (2020年12月30日現在)	
	口数(千口)	評価額(千円)
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザー ファンド	626,816	2,075,327

(注) 口数、評価額は、単位未満切捨てで表示しています。

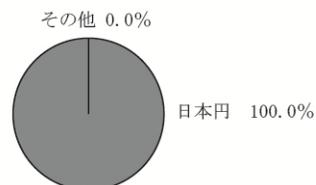
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

(注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)です。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況
(2020年12月30日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,085,424,152円
コール・ローン等	10,096,707
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド(評価額)	2,075,327,445
(B) 負 債	9,980,400
未払信託報酬	9,705,376
未払利息	24
その他未払費用	275,000
(C) 純資産総額(A-B)	2,075,443,752
元 本	1,523,931,475
次期繰越損益金	551,512,277
(D) 受益権総口数	1,523,931,475口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,619円

(注1) 期首元本額	1,816,005,396円
期中追加設定元本額	209,336,831円
期中一部解約元本額	501,410,752円
(注2) 1口当たり純資産額	1.3619円

◎損益の状況
(2019年12月31日～2020年12月30日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△4,226円
支 払 利 息	△4,226
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	321,141,671
売 買 損 益	374,392,593
売 買 損	△53,250,922
(C) 信 託 報 酬 等	△19,718,438
(D) 当期損益金(A+B+C)	301,419,007
(E) 前期繰越損益金	187,697,634
(F) 追加信託差損益金	62,395,636
(配 当 等 相 当 額)	(27,995,431)
(売 買 損 益 相 当 額)	(34,400,205)
(G) 計 (D + E + F)	551,512,277
(H) 収 益 分 配 金	0
次期繰越損益金(G+H)	551,512,277
追加信託差損益金	62,395,636
(配 当 等 相 当 額)	(28,316,626)
(売 買 損 益 相 当 額)	(34,079,010)
分 配 準 備 積 立 金	489,116,641

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(14,824,743円)、費用控除後の有価証券等損益額(286,594,264円)、信託約款に規定する収益調整金(62,395,636円)および分配準備積立金(187,697,634円)より分配対象収益は551,512,277円(1万口当たり3,618円)ですが、当期に分配した金額はありません。

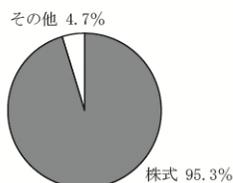
(注5) 当組入ファンドが主要投資対象としています、ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンドは、外貨建資産の運用の指図権限をComgest SAに委託しています。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っています。

◎ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド 組入状況 (2020年12月25日現在)

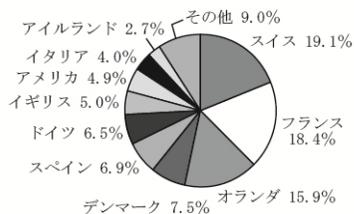
組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	MSCI業種分類	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	ASML HOLDING NV	情報技術	オランダ	ユーロ	5.9
2	株式	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	ヘルスケア	スイス	スイスフラン	5.6
3	株式	NOVO NORDISK A/S-B	ヘルスケア	デンマーク	デンマーククローネ	4.0
4	株式	INDITEX	一般消費財・サービス	スペイン	ユーロ	3.7
5	株式	HEINEKEN NV	生活必需品	オランダ	ユーロ	3.6
6	株式	ESSILORLUXOTTICA	一般消費財・サービス	フランス	ユーロ	3.4
7	株式	AMADEUS IT GROUP SA	情報技術	スペイン	ユーロ	3.3
8	株式	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	一般消費財・サービス	フランス	ユーロ	3.2
9	株式	PROSUS NV	一般消費財・サービス	オランダ	ユーロ	2.9
10	株式	MTU AERO ENGINES AG	資本財・サービス	ドイツ	ユーロ	2.9
組入銘柄数				43銘柄		

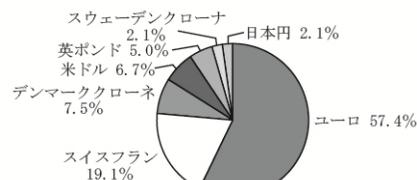
【資産別配分】



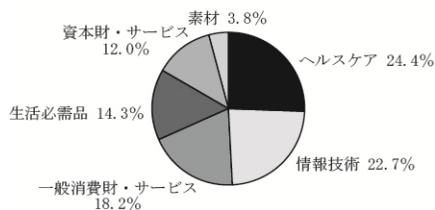
【国別配分】



【通貨別配分】



【業種別配分】



(注1) 比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

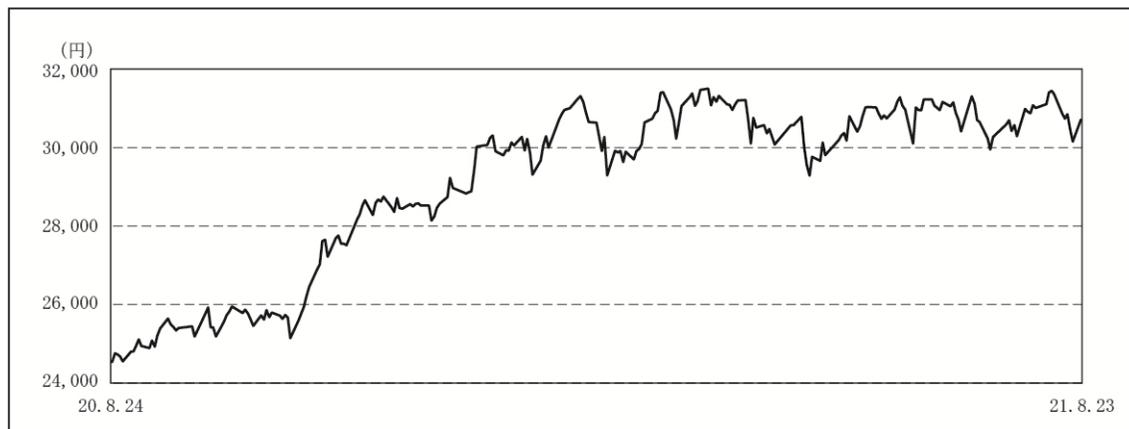
(注2) 資産別配分のその他は、コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)です。

(注3) 国別配分のその他は、ユーロ建ての現金、その他の資産等を含めて表示しています。

5 《さわかみファンド》

決算日：2021年8月23日 計算期間：2020年8月25日～2021年8月23日

◎基準価額の推移（2020年8月24日～2021年8月23日）



◎1万口当たりの費用明細（2020年8月25日～2021年8月23日）

項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a) 信託報酬 (委託会社)	319 (176)	1.097 (0.603)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(112)	(0.384)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(32)	(0.110)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式)	1 (1)	0.004 (0.004)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
合計	321	1.102	
期中の平均基準価額は、29,120円です。			

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

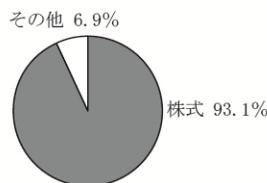
(注3) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

◎組入資産の明細 (2021年 8月23日現在)

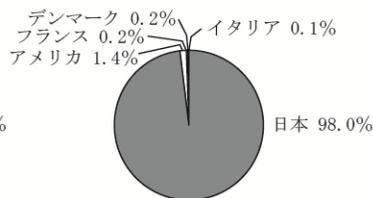
組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	業種	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	日本電産	電気機器	日本	日本円	6.1
2	株式	ダイキン工業	機械	日本	日本円	5.8
3	株式	信越化学工業	化学	日本	日本円	4.2
4	株式	ブリヂストン	ゴム製品	日本	日本円	4.1
5	株式	テルモ	精密機器	日本	日本円	3.9
6	株式	浜松ホトニクス	電気機器	日本	日本円	3.8
7	株式	TOTO	ガラス・土石製品	日本	日本円	3.3
8	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	日本	日本円	2.9
9	株式	花王	化学	日本	日本円	2.9
10	株式	デンソー	輸送用機器	日本	日本円	2.3
				組入銘柄数		114銘柄

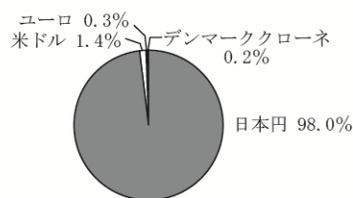
【資産別配分】



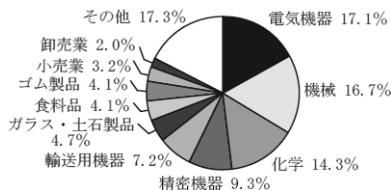
【国別配分】



【通貨別配分】



【業種別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別配分および業種別配分の比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。ただし、業種別配分のその他の比率は、全体から組入上位10業種の各比率の合計を差し引いたものです。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、当組入ファンドの組入有価証券の評価額の合計に対する各評価額の割合です。

(注3) 外国株式の業種は、当組入ファンドの委託会社の基準により、東証33業種に振り替えて表示しています。

(注4) 資産別配分のその他は、現金・預金・その他の資産（負債控除後）です。

(注5) 業種別配分のその他は、組入上位10業種以外の業種および現金・預金・その他の資産（負債控除後）です。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況
(2021年8月23日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	341, 202, 797, 757円
コール・ローン等	23, 849, 571, 383
株式(評価額)	316, 711, 379, 996
未 収 配 当 金	641, 846, 378
(B) 負 債	1, 053, 979, 887
未 払 金	45, 894, 079
未 払 解 約 金	72, 764, 418
未 払 信 託 報 酬	935, 321, 390
(C) 純資産総額(A-B)	340, 148, 817, 870
元 本	110, 803, 276, 529
次期繰越損益金	229, 345, 541, 341
(D) 受 益 権 総 口 数	110, 803, 276, 529口
1万口当たり基準価額(C/D)	30, 698円

(注1) 期首元本額 117, 631, 380, 202円
 期中追加設定元本額 5, 127, 952, 039円
 期中一部解約元本額 11, 956, 055, 712円
 (注2) 1口当たり純資産額 3. 0698円

◎損益の状況
(2020年8月25日～2021年8月23日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	4, 929, 075, 380円
受 取 配 当 金	4, 944, 952, 843
受 取 利 息	50, 832
支 払 利 息	△16, 301, 690
そ の 他 収 益 金	373, 395
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	65, 138, 876, 096
売 買 益	75, 920, 611, 229
売 買 損	△10, 781, 735, 133
(C) 信 託 報 酬 等	△3, 608, 560, 105
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	66, 459, 391, 371
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	87, 324, 823, 903
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	75, 561, 326, 067
(配 当 等 相 当 額)	(101, 467, 934, 483)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△25, 906, 608, 416)
(G) 合 計 (D + E + F)	229, 345, 541, 341
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	229, 345, 541, 341
追 加 信 託 差 損 益 金	75, 561, 326, 067
(配 当 等 相 当 額)	(101, 467, 934, 483)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△25, 906, 608, 416)
分 配 準 備 積 立 金	153, 784, 215, 274
繰 越 損 益 金	0

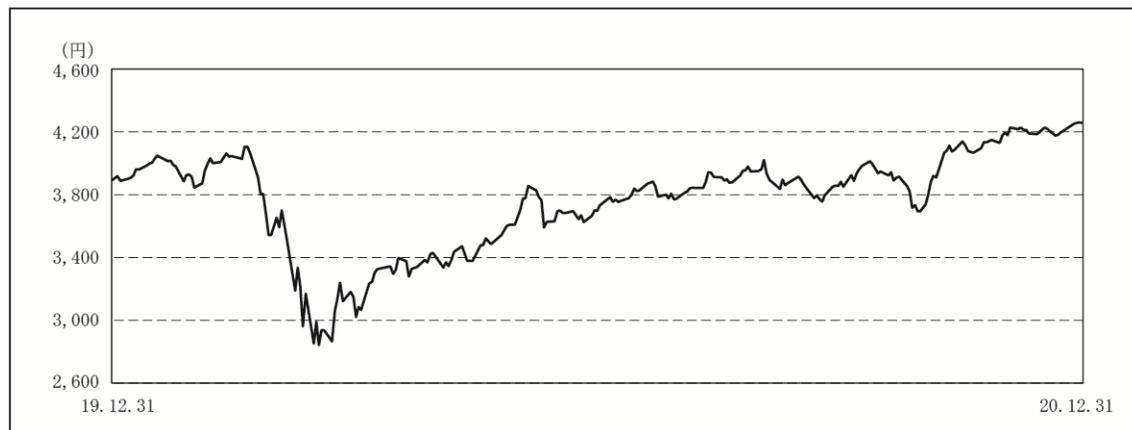
(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。
 (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税相当額を含めて表示しています。
 (注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注4) 期末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(4,675,393,605円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(48,234,886,514円)、信託約款に規定される収益調整金(101,467,934,483円)および分配準備積立金(100,873,935,155円)より分配対象額は255,252,149,757円(1万口当たり23,036円)です。分配は行っていません。

6 《キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）クラスZ》

決算日：2020年12月31日 計算期間：2020年1月1日～2020年12月31日

※当組入ファンドにかかる各内容（基準価額の推移を除く）は、キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）全体のものです。

◎基準価額の推移（2019年12月31日～2020年12月31日）

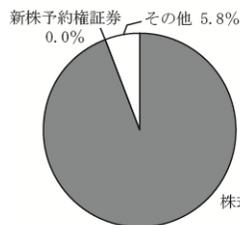


◎組入資産の明細（2020年12月31日現在）

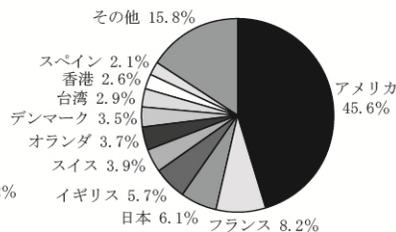
主たる投資対象の組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	業種等	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd., ADR	情報技術	台湾	米ドル	2.9
2	株式	ASML Holding NV	情報技術	オランダ	ユーロ	2.3
3	株式	Broadcom, Inc.	情報技術	アメリカ	米ドル	2.1
4	株式	AIA Group Ltd.	金融	香港	香港ドル	1.9
5	株式	Apple, Inc.	情報技術	アメリカ	米ドル	1.8
6	株式	Visa, Inc. 'A'	情報技術	アメリカ	米ドル	1.7
7	株式	Safran SA	資本財・サービス	フランス	ユーロ	1.5
8	株式	AstraZeneca plc	ヘルスケア	イギリス	英ポンド	1.5
9	株式	Novo Nordisk A/S 'B'	ヘルスケア	デンマーク	デンマーククローネ	1.4
10	株式	Microsoft Corp.	情報技術	アメリカ	米ドル	1.4
				組入銘柄数		170銘柄

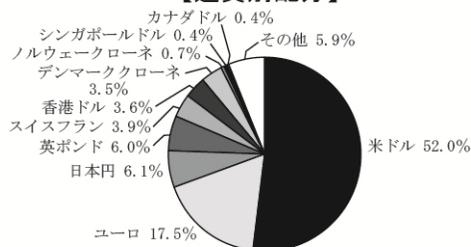
【資産別配分】



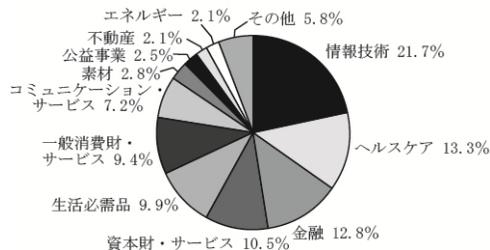
【国別配分】



【通貨別配分】



【業種別配分】



(注1) 比率は、純資産総額に対する各評価額の割合です。

(注2) 同一会社の株式は、それぞれまとめて1銘柄として組入比率および組入銘柄数を表示しています。

(注3) 現金、その他の資産等（主たる投資対象以外の資産を含む）は、その他に含めて表示しています。

◎資産、負債および純資産の状況 (2020年12月31日現在)

(ユーロ)

Assets	
Investments at market value	692,454,821
Cash at bank and broker	23,170,072
Receivable for fund shares subscribed	3,903
Dividend and interest receivable (net of withholding taxes)	476,547
Receivable for investments sold	265,175
Prepaid expenses and other receivables	276,407
Total assets	716,646,925
Liabilities	
Payable for investments purchased	157,242
Payable for fund shares redeemed	73,572
Management fee payable	156,496
Accrued expenses and other payables	400,203
Total liabilities	787,513
Total net assets	715,859,412
Investment securities at cost	556,631,528

◎損益の状況 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	(ユーロ)
Income	
Interest on bonds and convertible bonds (net of withholding taxes)	12,922
Dividend income (net of withholding taxes)	8,079,737
Other income	46,020
Interest on bank accounts	51,106
	8,189,785
Expenses	
Management fees	1,433,416
Administrative Manager services	432,363
Taxe d'abonnement	137,962
Professional services	170,276
Depository and custody	116,820
Printing and publishing	36,315
Other	27,424
	2,354,576
Reimbursement of expenses	72,959
Net investment income/(loss) for the year (a)	5,908,168
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	45,489,148
Foreign currency transactions	(1,190,868)
Net realised profit/(loss) for the year (b)	44,298,280
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	(7,178,413)
Foreign currency transactions	47,945
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) for the year (c)	(7,130,468)
Result of operations for the year (a+b+c)	43,075,980
Dividend distributions	(167,134)
Net subscriptions/(redemptions) of shares for the year	105,984,419
Total net assets at the beginning of the year	566,966,147
Total net assets at the end of the year	715,859,412

■直接販売の状況

新型コロナウイルスの感染が収束せず、リモートセミナー対応が続く中で新規口座開設数は166件（前期比+4件）と微増となりましたが、口座閉鎖数が99件（前期比+31件）と大きく増加し、当期末（2021年9月30日）の全口座数は前期末比+67件（1.9%）の3,636件と低い伸びとなりました。しかしながら、当期中に閉鎖された口座の割合は2.7%（前期比+0.8ポイント）と引き続きかなり低く、閉鎖されずに継続している割合（継続率）は、ファンド設定から当期末までに開設いただいた全ての口座で87.7%と高水準を維持しました。第1期（～2009年9月30日）に開設いただいた口座でも86.2%が継続しており、長期でご利用されているお客さまが多いことは変わりません。

また、「定期定額購入サービス」のご利用は全体の74.2%にあたる2,699件（前期末比+50件）と引き続き高い水準を保っています。

このように、定期定額購入サービスを利用して長期で投資されるお客さまの比率が極めて高いことが、弊社の特徴であり、強みでもあります。

新型コロナウイルスの感染拡大による株価急落からの急反騰の中で始まった今期は、基準価額が急落直前の高値を超えて26,000円台に入った11月になると、大口の換金や全解約が過去にない規模で発生しました。2014年1月から続いていた月度の資金純流入は残念ながら82か月で途切れ、年間の資金流出（解約）額は7億7,869万円（前期比+52.6%）と過去最大になりました。11月以降も基準価額は上昇スピードを落としつつも堅調に推移しましたが、換金は1月をピークに減少し4月からは月度資金純流入に戻りました。基準価額上昇の影響からスポット購入は低調でしたが、これは当社がお伝えしている「下がったら安くたくさん買う」と合致したものだと思っています。他方で、このような状況においても多くのお客様が「つみたて投資」を続けてくださり、定期定額購入額は月度平均で7,116万円（前期比+1.5%）と前年を上回りました。定期定額購入とスポット購入を合わせた年間の資金流入（買付）の総額は9億8,135万円と前期を9.7%下回りましたが、資金流出（解約）額を差し引いたネットの金額は+2億265万円（前期比△64.8%）となり、過去最低額ながら設定来13期連続で純流入を達成することができました。このことは、弊社の経営理念や運用哲学にご賛同いただいた多くの皆様によってユニオンファンドが育てられていることを示しております。

ユニオンファンドの純資産総額も基準価額の堅調な上昇に伴って増加を続け、9月9日には過去最高額の99.2億円と100億円にあと一步の水準まできました。当期末の純資産総額は97億712万円と前期末より20.5億円（26.8%）の大幅増加となりました。

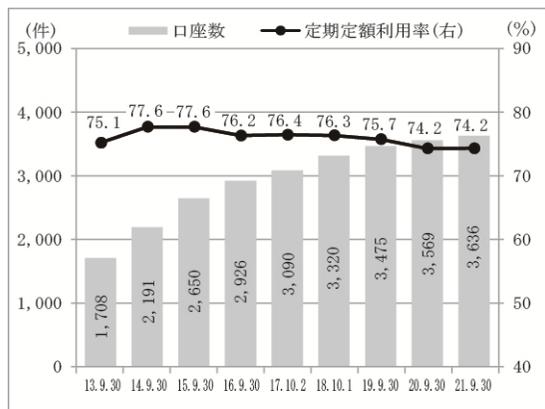
弊社は、働く仲間とその家族の方々の財産づくりのお手伝いをさせていただくべく設立された資産運用会社です。主にセミナーや個別相談等お客様と直接接点を持ちながら、「生涯投資」・「グローバル投資」・「つみたて投資」の有効性や魅力、そして「これからの明るい未来のために自らの意志で自らのお金を世の中に活かすこと」の大切さをご説明しております。

ユニオンファンドの成長が皆様それぞれの自分らしい人生を過ごすための生涯資産づくりに活かされていくWin-Winの関係を築くことができるのであれば、これほど幸せなことはありません。

これからも、ユニオンファンドは皆様の“生涯投資の道”の頼もしいパートナーであるべく、丁寧に丁寧に運用して参る所存です。

（注）各金額は単位未満切捨てで、比率は小数第2位四捨五入で表示しています。

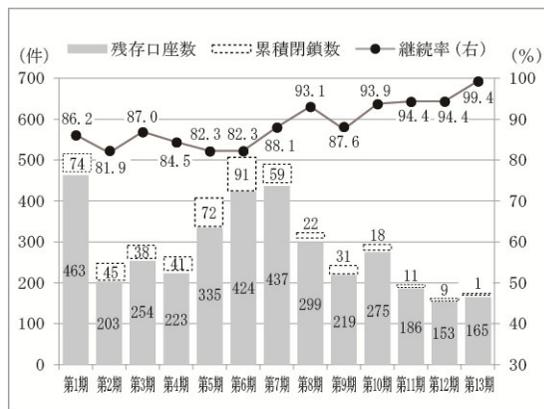
各期末現在の残存口座数および定期定額購入利用率



(注) 利用率は、小数第2位四捨五入で表示しています。

決算期別口座開設数および継続率

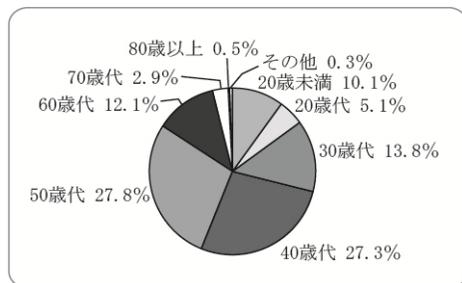
(2021年9月30日現在)



(注) 継続率は、小数第2位四捨五入で表示しています。

年代別口座比率

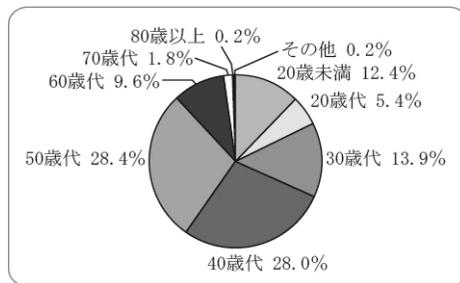
(2021年9月30日現在 総数3,636件)



(注) 比率は、全口座数に対する各年代の口座数の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

年代別定期定額購入利用者比率

(2021年9月30日現在 総数2,699件)



(注) 比率は、全利用者数に対する各年代の利用者数の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

年代別定期定額購入1回当たりの平均引落額 (2021年9月30日現在)

年代別引落額平均 (月次) (単位: 円)			
20歳未満	12,084	50歳代	33,069
20歳代	18,162	60歳代	30,777
30歳代	24,343	70歳代	29,444
40歳代	27,207	80歳以上	20,833

(注) 1回当たりの平均引落額は、次の式で算出し、円未満切捨てで表示しています。

(当該年代の毎月の契約金額の合計×12+当該年代の増額月の契約金額の合計) ÷ 12 ÷ 当該年代の利用者数